

第2次飛騨市空家等対策計画（案）についての意見と回答

募集期間	令和4年3月14日（月）～令和4年4月8日（金）
募集結果	2件

No.	ページ	意見・提案	市の考え方	対応
1	20～24 第4章具体的な対策	持ち主が資金を出せずに空家を解体できない場合に、移築希望者といった資材（木材）を必要とする個人や業者を探すなど、あらゆる方面へ情報発信してはどうか。	可能な限り空家を利活用することが、所有者及び市の費用（財政）負担の軽減につながります。住むとこネット（空家バンク）での情報発信による空家の需要と供給の掘り起こしはもとより、ご提案のような空家の利活用の手法や、そのために所有者と希望者を結びつけるような仕組みの実現について検討します。	計画には反映しませんが、対策推進へのご提案として参考にさせていただきます。
2	20～24 第4章具体的な対策	空家内部の不要な家財等は売却や譲渡するなど、可能な限りリサイクルしてゴミを減らすべき。そのために必要となる作業についてボランティアを募集してみてもどうか。	廃棄物の総量を減らすことは市の重要課題です。家財の低価格での売却や無償譲渡を条件としてボランティアを募集するなど、空家の所有者と家財を必要とする人を結びつけるような仕組みについて検討します。	計画には反映しませんが、対策推進へのご提案として参考にさせていただきます。